

## 富山県の沿岸で採集されたゴンズイ

※ 稲 村 修

ゴンズイ *Plotosus lineatus* (Thunberg) はゴンズイ科ゴンズイ属に分類される海産のナマズ目魚類で、本州中部以南；朝鮮半島南部・東インド諸島・インド洋・紅海に分布し、沿岸の岩礁域に生息しており、胸鰭と第1背鰭に毒のある鋭い棘をもつ事が知られている(澤田, 1984)。富山湾でも能登半島の先端近くに位置する石川県の内浦町や能登町の沿岸では、最近数年間、潜水中に目視確認されている(坂井, 私信)。しかし、これまで富山県の沿岸での記録は見当たらない。

1992年11月11日、富山湾奥部に位置する魚津市三ヶ地区の沿岸に設置されている伊古場(いごば)小型定地網で、ゴンズイが146尾(全長122~134mm)捕獲された。定地網は垣網が沿岸の沖合約100m、水深約7mのあたりから沖に向かって張られ、身網は沖合約300m、水深約25mのところ設置されており、小アジやサヨリに混獲されたものである。

捕獲されたゴンズイは非常に元気で、魚津水族館の展示水槽に收容した。水槽内でのゴンズイは餌も良く食べていたが、入槽後5日目から6日目にかけて約50尾が死亡したので標本した。死亡した原因は明らかではないが、その後も少数の死亡がみられ、1993年1月末日現在、約80尾が生存している。

最後になりましたが、ゴンズイを寄贈していただいた伊古場小型定置網の石浦健吾代表と、貴重な情報を提供していただいた金沢水族館の坂井恵一学芸員に感謝申し上げます。



### 引用文献

- 澤田幸雄, 1984. ゴンズイ. 解説. 日本産魚類大図鑑(益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫編). 東海大学出版会, 東京. 60.

※ 魚津水族館(富山県魚津市三ヶ1390)